## 実践例　さくら市立喜連川中学校

教科・科目等　道徳科（３学年　33 名）

本時の目標

　世界の子どもの実態を知り、世界の人々が幸せに暮らすために大切なことについて考えることができる。

育てたい資質・能力等

　世界には満足に生活できなかったり、教育を受けられなかったりするような子どもたちがいることを理解し、その苦労や痛みを感じ取ることができる。（感受性）

教材　・教科書（新しい道徳　３年）「その子の世界、私の世界」
　　・人権の窓（子どもの権利）

展開

●世界で起こっている問題と自分が幸せなときについてペアで話し合う。
●タブレットを使って、カカオ農園で働く子どもたちの動画を見る。
●カカオ農園で働く子どもたちが一番に望んでいることや、うれしい瞬間について考える。
●「人権の窓」で「子どもの権利」について確認する。

●世界の人々が幸せに暮らすために大切なことについて考える。

学習の様子

授業者の感想

・初めは、自分たちとは違い大変そうだと感じていた生徒がいたが、自分たちと同じように幸せな瞬間があったり、うれしい瞬間があったりすることに気付いた様子が見られた。